

# 雪氷の生態学 (18)

## 多雪地帯に育まれる特有の湿原生態系と物質循環に関する研究

2024年12月13日 (金曜日) 北海道大学 低温科学研究所 研究棟2階会議室

- 10:00 「開会のあいさつ」野原精一 (福島県尾瀬保護調査会)
- 10:05 「尾瀬国立公園における魚類相の分布~環境DNA解析による尾瀬ヶ原調査結果~」亀山哲, 今藤夏子, 中嶋信美, 松崎慎一郎 (国立環境研究所)
- 10:25 「多雪地帯尾瀬ヶ原における高層湿原の地すべり」野原精一 (福島県尾瀬保護調査会)・村田智吉 (国立環境研究所)・千賀有希子 (東邦大学)・福原晴夫 (河北潟研究所)
- 10:45 「尾瀬ヶ原の浅い池澮の課題-その1-課題の整理と指紋状池澮-」福原晴夫 (河北潟湖沼研究所)・永坂正夫 (金沢星稜大学)・野原精一 (福島県尾瀬保護調査会)・村田智吉 (国立環境研究所)
- 11:05 「湿原の分類と名称、特に英文表記について」岩熊敏夫 (北海道大学)
- 11:25 「田代山湿原周辺の斜面崩壊の観測 -合成開口レーダーとドローン映像による解析-」久田泰広・田中皓大・小川佳子・出村裕英 (会津大学)
- 11:45 「太陽光発電事業地内で確認されたキタサンショウウオの保全事例 (2)」照井滋晴 (NPO, 環境把握推進ネットワーク-PEG)
- 12:05 - 昼食・休憩 -
- 13:20 「多雪地帯に生成する山地土壌と湖沼底質中の鉄、有機物の移動・集積挙動について」村田智吉 (国立環境研究所)・野原精一 (福島県尾瀬保護調査会)
- 13:40 「湿原生態系における溶存有機物 (DOM) の動態とその重要性」千賀有希子・竹下隼都渡邊健介 (東邦大学)・野原 精一 (福島県尾瀬保護調査会)
- 14:00 「尾瀬地域の標高が異なる泥炭湿原における溶存有機物 (DOM) 特性とDOMの太陽光分解を介した温室効果ガス放出速度」渡邊健介・千賀有希子 (東邦大学)
- 14:20 「釧路湿原由来の溶存有機物 (DOM) は塩分による凝集を受けるか？」竹下隼都・千賀有希子 (東邦大学)
- 14:40 - 休憩 -
- 14:55 「尾瀬ヶ原に分布するイワナ個体群の集団構造: 湿原による分断」山本俊昭 (日本獣医生命科学大学)・野原精一 (福島県尾瀬保護調査会)・藤原英史 (ドキュメンタリーチャンネル)
- 15:15 「アカシボ粒子の中身を探る」久保響子 (鶴岡工業高等専門学校)
- 15:35 「尾瀬ヶ原湿原から分離した糸状性メタン酸化細菌 *Crenothrix* の特徴づけ」梅澤和寛 (静岡県立大学)
- 15:55 「氷河期の遺存種ヤチカンバ生育地におけるウシ侵入攪乱5年後の植生」佐藤雅俊 (帯広畜産大学)
- 16:15 - 休憩 -
- 16:30 総合討論
- 17:00 「閉会のあいさつ」野原 精一
- 18:30 懇親会

### < 問い合わせ >

研究集会代表: 千賀 有希子 (東邦大学),  
世話人: 福井 学 (北海道大学・低温科学研究所)  
[my-fukui@lowtem.hokudai.ac.jp](mailto:my-fukui@lowtem.hokudai.ac.jp)